

# 2026 年度

## 「United Hearts 杯」

### 開催について

#### 1. 目的

障がい者フットサルを推進し、スポーツを通じて人とのつながりを築き、自信を培い、夢や希望を実現すると共に、今後の道北地域における交流行事としていくことで、障がい者に対する正しい理解と認識を広め、交流を通じた地域社会との壁のない環境を実現していくことを目的とする

2. 主催      ・ United Hearts

3. 主管      ・ 「United Hearts 杯」実行委員会

4. 後援      ・ 旭川地区サッカー協会  
・ 道北地区サッカー協会  
・ 名寄地区サッカー協会  
・ PSAC (Psychosocial Athlete Community)

5. 協力      ・ 名寄市立総合病院    こころのリハビリテーションセンター

6. 大会日程    ・ 2026 年 8 月 9 日（日）    9：00～17：00    （試合 10：00～16：00）

7. 会場      ・ 名寄市スポーツセンター（名寄市西 7 条南 12 丁目    電話：01654-3-6627）

8. 参加団体    ・ United Hearts  
（予定）    ・ 旭川地区チャレンジドフットサルチーム・美深福祉会・PSAC・フレンドハウス等

#### 9. 参加資格

- ①精神障がいや知的障がい、発達障がいのある方
- ②障がい者支援に携わっている医療関係者や事業所関係者
- ③障がい者支援に理解がある人、それらについて学んでいる学生
- ④一般的なマナーを守り、スポーツマンシップに則って友好的にプレーができる者

10. 参加費    ・ 3000 円／1 チーム

#### 11. 競技規則

##### 競技方法

リーグ戦又トーナメント戦となる。（参加チーム数により決定する）

試合時間は、7 分ハーフタイムは 2 分のランニングタイムの 16 分とする（コートチェンジは行わない）

1 面の使用となり、コートサイズ（横 16m×縦 32m    PK エリア 5m）となる。

## 12. 組み合わせ 主催者が抽選し、決定するものとする

## 13. 服飾

- ・運動に適した動きやすい服装であればユニフォームの着用は義務付けないが、ユニフォームを着用しない場合はビブスを着用する。
- ・シューズは体育館で使用できるもの（フットサルシューズが望ましい）とする。レガースは必ず着用する

## 14. 競技規則

競技は原則として日本サッカー協会の競技規則に則って行う。本大会における特別ルールは以下に記載する。

- 1) 4名以上の当事者でチームが編成されている事（支援者の参加は原則1名）
- 2) コート上に立てるのは1チーム5人まで。女性を含む場合に限り、6人プレーが可能（女性が複数いても上限は6人）。
- 3) 眼鏡での出場の禁止。やむを得ない場合に限り、スポーツ用ゴーグルもしくは眼鏡の上からゴーグルを着用しての出場は許可する。
- 4) 各チームの参加登録人数に上限は設けない

## 15. 審判 名寄地区サッカー協会に依頼（主審・副審・線審・タイムキーパー）

## 16. 安全管理及び救護

各チームまたは各参加者ごとに必ずスポーツ保険に加入する。競技中の事故・怪我などについては原則各自で行うこととして各チームが健康・安全に気を配る

## 17. 写真・動画撮影について

大会当日は撮影、取材、広報の写真・ビデオ撮影を行うこととしているため、選手や関係者は撮影などを了承し、出場しているものとする

## 18. 大会を企画した背景

JFAによると「こころの病」に対するフットボールを用いた本格的な取り組みは、精神障がい者のフットサル大会という形で、2007年に大阪から始まり、たちまち全国に波及し、各地域のJリーグ加盟チームや地域のスポーツ団体などの協力を得ながら、精神疾患／精神障がいのある人々を対象とした種々のフットサルイベントが開催されるようになった、とされている

大会も盛んに開催されており、全国各地のチームが集まり試合を行う全国大会が概ね2年おきに、2016年は大阪で、2018年にはイタリアでの世界大会が開催され、ともに日本代表は参加している

北海道内においても各種大会が開かれており、中でも地域での2大会【ソーシャルフットボールサポーターズカップin十勝（3月開催）、ソーシャルフットボールともにカップ（10月開催）】、札幌市での2大会【北海道チャンピオンズカップ（6月開催・全道大会）ソーシャルフットボールサポーターズカップ（12月開催）】は合わせてソーシャルフットボール道内4大会として数えられている

名寄市においては2009年より院内プログラムとしてソーシャルフットボールを開始し2013年にはソーシャルフットボールチーム「United Hearts」を設立、以降フットボール文化の盛んな同市の風土にも支えられ市民

大会への参加や4大会への遠征、旭川でのチャレンジドフットサル東花苑杯への参加に取り組んできた。過去にはソーシャルフットボール北海道代表チームに2名が選出された経緯も持つ

名寄市で初の障がい者フットサル大会を行うことで、知的障がい及び精神障がい者フットサルの持てる魅力や役割、道北地域の持てるフットボール文化の強みを内外に発信、及び交流を通して各団体のネットワークがさらに強固となることを当該大会の開催を通じて目指している

## 19. 問い合わせ先

名寄市立総合病院 こころのリハビリテーションセンター

United Hearts 事務局

精神保健福祉士 齋藤 渉

T E L : 01654 - 3 - 3101 FAX : 01654-2-0567 E メール [seiriha@nayoroch.jp](mailto:seiriha@nayoroch.jp)

## 他大会の撮影写真

### ① 2019 年度北海道チャンピオンズカップ

(道内当事者チーム10チーム参加)



### ② 2019 年度ソーシャルフットボールサポーターズカップin十勝

(道内当事者チーム8チーム 支援者チーム2チーム参加)



### ③ 2019 年ソーシャルフットボールともにカップ

(道内当事者チーム8チーム 支援者チーム1チーム 地域支援者1チーム参加)

